

仙台七夕まつり開催

今年も仙台七夕まつりが8月6日(日)、7日(月)、8日(火)の3日間開催されました。今年は初日から雲が広がるあいにくの天気で、最終日は台風の接近による悪天候によりおまつり広場のイベントが全面中止に。人も178万6千人と26年ぶりに200万人を下回りました。それでも街にはさまざまなデザインの飾りが並び、見物する市民や観光客の目を楽しませていました。



吹き抜ける風の中、彩り鮮やかな飾りが並んだ一番町四丁目商店街(東一番通り商店街・金賞)。



古き良き時代の懐かしさが感じられる原町東部商工会(仙台駅前周辺宮城野区地区・金賞)。



それぞれ創意工夫のある飾りが通りに並び連坊商興会(若林区太白区地区・金賞)。



仙台市内185校の小・中学校「児童生徒による七夕飾り」は今年で7回目。8万8000羽の折鶴の先には各学校の短冊が付けられ、自分の学校の短冊を探す親子連れなどでにぎわった。



地域が一つになって昔ながらの七夕の良さを受け継いでいる根白石商店会(北地区・金賞)。



飾りの下で子供たちがすずめ踊りを舞う仙台朝市商店街(青葉区周辺地区・金賞)。

伝統的な飾り付けでまとまり感を演出した名掛丁商店街(中央通り商店街・金賞)。



伊達政宗公生誕450年をテーマにした飾りも各所に登場(上)。市内各飾りには記念の統一札も掲出した(左)。



おまつり広場



仕掛け物審査では、「彦いち（一番町四丁目商店街）」が金賞（右）、「今庄青果本店（仙台朝市商店街）」が銀賞（中央）。フォーラス前の仕掛け物には伊達政宗公も登場（左）。



記念の撮影スポットとして仙台駅前の歓迎ボードも人気。

観光案内所では今年も高校生ボランティアが活躍。



市民広場の「仙台七夕おまつり広場」では今年もたくさんの催しが。ステージイベントや七夕飾り作り体験、短冊記入、盆踊りなどの他、今年は生誕450年にちなみ、伊達政宗公が詠んだ七夕に関する8首の和歌や学生による政宗公をイメージしたイラストも展示。

会員企業や学生ボランティアによる仙台七夕おもてなし隊は結成3年目。今年のはのべ約400人が観光客の七夕見物をお手伝い。



仙台商工会議所、東北経済連合会、オリンピック・パラリンピック等経済界協議会の共催で、復興五輪を後押しする被災地物産イベント「仙台JAPAN市」を七夕まつり期間中開催(8月7日・8日)。

周辺部バスツアーで、地域ごとに趣向を凝らしてつくられた飾りに見入る参加者。(8月7日)



3日目の8月8日は台風接近による風雨に見舞われ、おまつり広場のイベントは前日（7日）の時点で全面中止が決定（右）。一番町四丁目商店街では飾りへの対応に追われた（左）。



観光案内所には大勢の外国人観光客の姿が（上）。連坊商興会で行った茶会でも外国人の方がお手伝い（下）。



仙台七夕花火祭は濃い霧の中での開催(8月5日)。



政宗公の霊廟が幻想的に浮かび上がる瑞鳳殿七夕ナイト。